

TOPに聞く

株式会社コプロス／下関支部

常にアンテナを広げ、商品力のあるものづくりを

創業以来、常に新しいことへの挑戦を続けてきた株式会社コプロス。独自の開発した下水管布設工法「ケコム（KCM）工法」は全国各地で高い評価をうけているほか、2006年には「新分野進出モデル構築支援事業」に「バイオガスパラント」が採択されるなど、時代に沿った積極的な新事業への取り組みをされています。近年、新たにグラフィック事業も始められた、同社の宮崎薫社長にお話を伺いました。

■ 独自技術の開発で 全国にPR!

（株）コプロスは、昭和21年に二宮組として創業以来、常に新しいものへの取り組みと独自開発を積極的に行ってきました。中でも、立杭構築と小口径管推進とを一体化した下水管布設工法「ケコム（KCM）工法」は、その効率性、経済性などから、全国的にも注目され、建設機械化奨励賞、黒瀬賞（社）日本下水道管渠推進技術協会、国際非開削技術協会NO・DIG賞を受賞するなど、高い評価をうけています。また、家畜糞尿からバイオガスとしてエネルギー回収を行い電気及び温水を創出する「バイオガスパラント」は平成18年度、建設業振興基金の「新分野進出モデル構築支援事業」に採択されるなど、幅広い業務展開がされ、現在では下関市を拠点に全国にネットワークを広げています。

宮崎 薫

Kaoru Miyazaki
株式会社コプロス
代表取締役社長



株式会社コプロス 会社概要

創業 昭和21年7月
代表者 代表取締役社長 宮崎 薫
従業員数 130名
営業内容 一般土木工事、KCM工法(特許)工事、CAM工法(特許)工事、建築、測量、採石、産業廃棄物処理業、再生骨材販売、グラフィックプリント事業
本社 〒752-8609 下関市長府安養寺1-15-13
TEL 0832-46-0545



■ 計画管理をしっかりと行いながら、着実に 次のステップへ

土木建築のみならず多方面に事業を手がけられている同社ですが、やはりそこにはたくさんの方の苦労もあつたそう。

「新規事業はとにかく投資が大変。特に昔は『なんでもとりあえずやってみよう!』という時代だったから、コストがかかってしまいがなかつたんですよ。今になつてやっと、仮説を立てた後にさまざまなチェックをし、実行するという計画管理の流れが出来てきたところです。」と苦笑される宮崎社長。現在ではより短い期間での計画管理を課題とされています。

「それでも、長年の開発の成果が実を結び、KCM工法やバイオガスパラントは、通常の土木業務が減少する昨今に、会社の主戦力となるまでに至りました。今後は、確実な計画管理の元で、じっくりと事業を進めていくつもりです。」

■ 常に視野を広く持つ 新しいことへの 挑戦を続ける

現在、同社の事業の中で積極的に取り組まれている新たな事業がグラフィックデザイン部門。この分野では、看板や広告塔だけでな

く、建物の壁や床、車両などにもデザインを貼り付けることの出来る特殊なシートとインクを使用し、生活空間のさまざまなものをサインや広告メディアとして効果的にPRする事業を展開しています。外観からは窓ガラス一面にデザインが施されているけれど、内側からは外の様子がわかるものや、種類の違うシートを利用することでよりリアルに質感を表現するものなど、シートの仕様も自由度が高く、すでに銀行や個人病院など県内のさまざまな場所で利用されています。

常に未来を見据え、チャレンジを続けて来た同社ですが、これからはより“商品力”のあるものを開発していきたいと宮崎社長は話されます。「商品力」のあるものとは、人々に必要性が高く、人を惹きつけ求められる商品のこと。変動の激しい現代の中で、それを見つけて出し、生み出すということは簡単なことではありません。しかし、変動が激しいからこそチャンスもたくさんある。土木や河川といった通常業務の中にも、何か工夫できないかと模索するのももちろんですが、日常生活においても常にアンテナを広げて、今後新しいアイデアを見つけていきたいと思えます。」